

自分のために、家族のために

婦人科検診

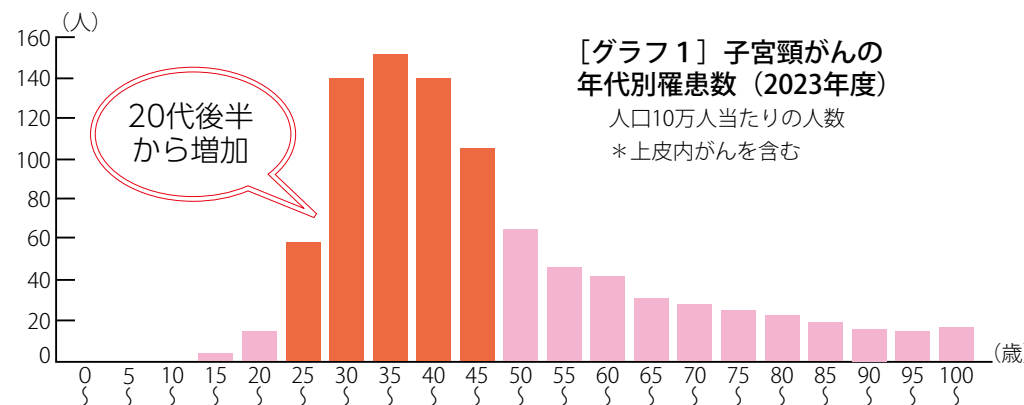
を受けましょう

子宮頸がんとは

子宮頸がんは子宮の入口（子宮頸部）にできるがんです。原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）は、一度でも性交渉の経験があれば感染している可能性があり、生涯に一度は感染するといわれている一般的なウイルスです。ほとんどの場合、感染は一時的で、ウイルスは自然に消えると言われていますが、まれに感染が長く続き、がんになっていきます。

近年、20代後半から40代にかけて発症率が増加傾向です。早期のうちには症状がなく、進行するにつれて不正出血やおりもの変化などが現れます。予防は、ワクチン接種や検診が有効です。

「出典」(グラフィ、2) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)



乳がんとは

乳がんは、日本人女性の9人に1人がなると言われています。女性がかかるがんの中で最も多く、30代後半から増え始めます。30〜64歳の女性では、がんによる死亡原因の第1位です。

早期のうちには自覚症状がないことが多いですが、自分で気付くことができる可能性のある数少ないがんです。

▼**触るときのポイント**
あおむけに寝た姿勢や、せつけんの付いた手で確認しましょう。その時、乳房や脇の下のしこり、乳首からの分泌物の有無を確認します。

▼**見るときのポイント**
鏡の前に立ち、両腕を高く上げた後、両腕をまっすぐ下ろしたり、腰に当てたりします。その時、くぼみや引きつれ、ただれの有無を確認します。

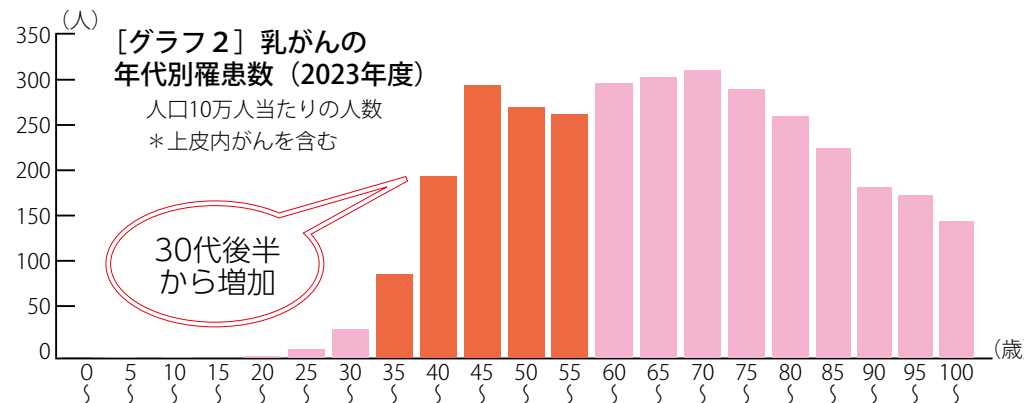
乳房を意識した生活
（ブレスト・アウェアネス）

早期発見につなげるために、乳房の状態を意識する生活習慣を心がけ、入浴や着替えの時に確認してみましょう。

①自分の乳房の状態、月経周期による変化を知る。
②乳房の変化に気を付ける。
③変化に気付いたら、すぐ医師（乳腺科）へ相談する。

④40歳になったら、自覚症状がなくても2年に1回検診を受ける。

①3〜4本の指で「の」の字を描くように、乳房全体をゆっくり触る。
②乳がんが多い乳房外側上部に注意する。
③脇の下まで広く確認する。
④乳首をつまんで分泌物がないか確認する。



婦人科検診について

今年は母娘で一緒に検診に行ってみるのありかも？



受診券の送付について

- 【対象者】
- ▶令和6年度に市の婦人科検診を受診した人
 - ▶令和8年3月31日時点で20、25、30、35、45、50、55、60、65、70歳の人
 - ▶健康推進課に令和8年度婦人科検診の受診希望の連絡をした人
- ※令和7年度に婦人科検診を受診された人は対象外です。

無料クーポン券の送付について

- 【令和8年度対象者】
- ▶子宮頸がん＝平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ（20歳）
 - ▶乳がん＝昭和60年4月2日～昭和61年4月1日生まれ（40歳）

受診券が届いていない人で受診を希望する場合は、申請フォームでの申し込み、もしくは健康推進課（☎②0024）まで問い合わせください。

検診会場 ※「子」＝子宮頸がん、「乳」＝乳がん（マンモグラフィ検査）、「骨」＝骨粗しょう症
検診の詳しい日程、場所、検査項目は、市ホームページまたは受診券の同封文書をご覧ください。

実施機関	会場	子	乳	骨	受診可能日	予約方法	実施期間	オプション検査料金
聖隷予防検診センター（集団検診）	公民館、さざんか、相良保健センターなど（託児日程あり）	○	○	○	受診券の同封文書を参照	インターネット、ハガキ	8月～11月	▶乳房エコー検査(3,850円) ▶骨粗しょう症検査(*)
榛原総合病院（個別検診）	榛原総合病院 南館 6階 健診センター（細江2887番地1）	○	○	×	病院に問い合わせ（一部土曜日でも受診可能）	榛原総合病院 健診センターへ 電話(☎②9309)	12月19日 国まで	▶HPV検査(4,400円) ▶乳房エコー検査(5,500円) ▶骨粗しょう症検査(4,840円)
あかほりクリニック（個別検診）	あかほりクリニック（片浜873番地2）	○	×	×	月～土曜日（木・土は午前のみ）	診療時間内に直接来院	12月26日 国まで	なし

*骨粗しょう症検診の対象年の人（令和8年3月31日時点で40、45、50、55、60、65、70歳の人）は、1,300円で受診可能です。それ以外の方は、2,750円です。

女性の総合がん検診と特定健診の同時受診可能日について

婦人科集団検診では、がん検診や特定健診を同日で受診できる日程があります。完全予約制で、全ての検診を約1時間で受診することができます。希望される人は早めの予約がお勧めです。

婦人科検診内容

検診名	対象年齢（令和8年3月31日時点）	自己負担金
乳がん検診（マンモグラフィ検査）	40歳以上で前年度未受診の人	2,000円（※1）
子宮頸がん検診（細胞部・内診）	20歳以上で前年度未受診の人	1,900円（※1）
骨粗しょう症検診（レントゲン検査）	40歳以上	1,300円（※2）

- ※1 乳房エコー検査は、オプションのため自己負担になります。対象は、令和8年3月31日時点で30～39歳の人や、40歳以上で前年度マンモグラフィ検査を受診した人、今年度マンモグラフィ検査と併用受診する人です。令和8年3月31日時点で40歳の方は乳がん検診、20歳の方は子宮頸がん検診がそれぞれ無料で受診可能です。自己負担額は、実施機関によって異なります。詳しくは、受診券の同封文書をご確認ください。
- ※2 40、45、50、55、60、65、70歳の方は1,300円で受診可能です。それ以外の方は2,750円になります。

▶「乳がん検診（マンモグラフィ検査）」は、左右の乳房を片方ずつ挟み、圧迫して撮影します。



▶「子宮頸がん検診」は、医師が専用のブラシを用いて、子宮頸部の細胞をこすって採取し、顕微鏡で調べる方法です。

